

地域のつながり

【現状と課題】

- 健康状態をよいと感じている人の割合は80.3%で国や都と全体的に同様の結果になっている。
- 地域の人との関わりの程度において、「つきあいがない」人は男性の方が多い。都や国の比較では「つきあいがない人」は全体的に低く、地域のつながりが強い傾向にある。
- 65歳以上で、「つきあいはない」と回答した人の割合は少なく、若年層の方が多い。
- 異世代の交流機会は、60代以降で「まあまあある」と回答している人が多い。
- 地域のつながりが高いほうが健康実感も高い傾向がある。
- 余暇の充実や悩みの程度も地域のつながりが高いほうが良い結果がでている。
- ◆ 健康状態が「よくない」と回答した人では、「つきあいはない」が多くの割合を占める結果となっている。
- ◆ 余暇の充実度が高いと地域との交流が多く、余暇の充実度が低いと地域との交流が少ない傾向がみられる。

○地域のつながりと健康実感に相関関係がみられる。

○若年層が地域のつながりが少ない。女性より男性が少ない。

○地域のつながりが強いほうが悩みや余暇の充実によい結果がでている。

【指標一覧】

	指標	現状値	国や都の数値	目標 (考え方)
1	自分の健康状態を「よい」、「まあまあよい」と感じている割合	80.3% 男性80.5% 女性81.7%	85.5% (国) ※1 81.0% (都) ※2	ふやす
2	地域の人との関わりについて「つきあいはない」と回答した人の割合	12.0% 男性15.4% 女性9.0%	(都) ※2 男性 17.8% 女性 10.8%	へらす
3	地域の人との関わりの程度について「つきあいはない」と回答した人の割合【65－74歳】	4.3% 男性7.2% 女性2.1%	参考 70代 男性10.2% 女性 3.6%	へらす
4	地域の人との関わりの程度について「つきあいはない」と回答した人の割合【75歳以上】	3.3% 男性6.3% 女性0.0%	参考 80歳以上 男性10.4% 女性 7.5%	へらす
5	違う世代の方と交流する機会が「とてもある」「まあまあある」と答えた人の割合	37.9% 男性31.8% 女性43.4%	(都) ※2 男性 32.1% 女性 47.1%	ふやす
6	趣味や運動、スポーツ、学習活動、地域活動等の余暇の過ごし方が「充実している」「まあ充実している」と回答した人の割合【65－74歳】	64.6% 男性60.8% 女性67.4%	—	ふやす
7	趣味や運動、スポーツ、学習活動、地域活動等の余暇の過ごし方が「充実している」「まあ充実している」と回答した人の割合【75歳以上】	58.0% 男性51.9% 女性64.8%	—	ふやす

※1 「平成25年度国民生活基礎調査」  
※2 「都のつながり意識・活動調査 平成25年度」

【目標】地域のつながりを醸成し、健康実感を高める。

1. 地域の中で健康づくりを推進する。
2. 地域の活動を支援してつながりを醸成する。
3. 高齢者の社会参加をふやす。

行政の取り組みについて方向性

1. 地域の中で健康づくりを推進する。

事業名	内容	主体
地域健康づくり推進員	健康づくりの推進役として地域住民の相談に応じ、健康づくりの情報提供、地域住民と市を結ぶパイプ役、健康づくりのリーダーとして各種イベントの参加や活動を行っている。	健康推進課
各種健康に関連する講座	「シニアリトミック、ウォーキング」「薬の飲み方と残薬管理」「一生自分の足で歩こうよ!」「山登りで10歳若返ろう」「脳トレ体操で健康維持を」などの講座	公民館
利用サークルの登録	小平市立公民館利用団体一覧等による、市民への活動団体の情報案内の業務	公民館

2. 地域の活動を支援してつながりを醸成する。
  - 地域の活動を支援する。
  - 地域活動の機会を提供する。
  - ボランティア活動など社会参加の機会を提供する。

事業名	内容	主体
地域連絡会（地域自治推進事業）	自治会、商店会、民生委員、青少年対策地区委員会、PTA、高齢クラブなどの地域活動を行っている団体や学校、地域包括支援センター、社会福祉協議会などの関連機関の連携強化を図るため、連絡会を開催し、市民が地域社会との関わりを保つきっかけを作る。	市民協働・男女参画推進課
自治会懇談会（自治会助成事業）	「高齢者の見守り」など、決まったテーマに従い情報提供を行ったり、テーマを定めず自由に話し合う「意見交換（コミュニケーション）の場」の提供を行い、地域の抱える問題を共有し、つながりを強化する。	市民協働・男女参画推進課
NP0・ボランティア活動促進事業	ボランティア団体や市民活動団体に補助金を交付するなど、地域活動の活性化を支援し、地域のつながり	市民協働・男女参画推進課

	を促進する。	
認知症カフェ	認知症の方や家族がくつろぎ、地域の方と触れ合う場として開催している。	高齢者支援課
オープンガーデン事業	小平市内の一般家庭、公共の花壇、商業施設等26箇所がオープンガーデンに指定されている。オープンガーデンオーナー同士や、訪問客との間に交流が生まれている。他県や他市からの訪問客も多い。	産業振興課
障がい者に関わるイベントの開催	障害者福祉センターの「センターまつり」、あおぞら福祉センターの「わくわく納涼祭」を開催するなど、障がいのある人もない人も参加できるイベントを通して、市民の理解と共感を深め、交流の輪を広げる。	障がい者支援課
地域移行の推進	地域で暮らすことを希望している障がいのある人の地域での生活を支援する取り組みとして、「障がい者自立生活サポート事業」「障がい者居住支援の推進事業」「地域移行支援」「地域定着支援」により地域移行を推進していく。	障がい者支援課
放課後子ども教室（小学校）	学校施設を利用して、地域のボランティアにより、子どもたちの放課後や休日等の安全・安心な居場所として、学びや体験、世代間交流などの場を提供している。	地域学習支援課
公園ボランティア	市が管理する公園などの公共の場所の美化に努め、地域の愛着や美化の仲間作りを図り、いつもきれいなまちづくりに参加してもらう。	水と緑と公園課
花植ボランティア	こだいら花いっぱいプロジェクトのボランティアメンバーを中心に、小平駅南口ロータリーなど市内公共施設の花壇の花植えを行う。	水と緑と公園課
小平駅前ロータリー花壇の整備	都市景観を整えるため、市民参加形で小平駅前の花壇の整備を行っている。	道路課
グリーンロード推進協議会	玉川上水自生野草を守り育てる会、あじさい公園あじさいボランティア部会、狭山・境緑道花街道ボランティア部会、齋藤素巖グリーンロード美術館部会、イベント部会の5つの部会で構成され、約90名のボランティア会員がグリーンロード沿いの草花やブロンズ像の手入れなどを行っている。	産業振興課

➤ 地域の担い手を育成する。

事業名	内容	主体
ボランティアの養成、ボランティア団体との協働の推進	社会福祉協議会のボランティアセンターや地域生活支援センターあさやけの地域活動支援センター事業等において、ボランティアの養成を行う。また、障がいのある人の自立の支援に積極的な活動を展開している市内のNPO法人やボランティア団体との協働を進める。	障がい者支援課
介護予防リーダー養成講座	地域で介護予防の活動を行う人材を育成する。(H28年度開始)	高齢者支援課
介護予防見守りボランティア事業	健康な高齢者が見守りボランティア活動を行うことによって、外出し、人と交流する機会を得て、介護予防が推進されるとともに、見守りが必要とされる高齢者が健康な高齢者に見守られることによって、地域において自立した日常生活が継続できるように支援することを目的として行っている。	高齢者支援課
認知症支援リーダー養成講座	認知症のことをより理解し、認知症カフェの担い手になるなど、地域で認知症の方とその家族を支える人材を育成する。(H28年度開始)	高齢者支援課
生活サポーター養成講座	高齢者宅での生活援助やデイサービス等での支援を行う担い手を育成する。(H28年度開始)	高齢者支援課
地域自立支援協議会	中立・公正な相談支援事業を実施するために、個々の障がい者のニーズに応じたサービス等利用計画に作成等について市内相談支援事業所間での研修会の実施や、個別事例に対する検討会議の開催、障害福祉計画の進行管理、地域の関係機関とのネットワークの構築等、連携強化や社会資源の開発・改善、人材の育成を推進する。	障がい者支援課
コミュニケーション支援	障がいのある人となない人が円滑にコミュニケーションを行えるように、手話通訳者・要約筆記者を派遣するとともに、登録手話通訳者の研修等を行う。また、手話通訳者養成講習会を行う。	障がい者支援課
ヘルプカード	障がい者が災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲に自己の障がいへの理解や支援を求めるために携帯するカード。緊急連絡先や必要な支援内容などを記載する。	障がい者支援課

3. 高齢者の社会参加をふやす。

➤ 余暇活動の充実、生きがいをづくりをすすめる。

事業名	内容	主体
高齢クラブへの助成	高齢者が健康で豊かな生活を送るために、地域を基盤として自主的に組織されている高齢クラブに対する助成を行っている。	高齢者支援課
健康音楽教室	元気な高齢者が歌や楽器の演奏などによって生きがいと健康を維持するための教室を行っている。	高齢者支援課
高齢者福祉大会	60歳以上の市民を対象に敬老の日になんで高齢者の方々をお祝いする式典。	高齢者支援課
福祉会館（老人福祉センター）運営	高齢者が健康づくりや、趣味、教養、レクリエーションをおこなう施設で、入浴施設も備えている。	高齢者支援課
シルバー人材センター運営補助	就業を通じた高齢者の生きがいの充実と、社会参加を促進するため、小平市シルバー人材センターへの助成を行っている。	高齢者支援課
ほのぼのひろば	介護を必要としないおおむね60歳以上の一人暮らしの方を対象に、孤独感の解消や介護予防を目的として、地域ボランティアや民生委員・児童委員の協力を得て、地域センター等で趣味活動、創作活動、レクリエーション、軽い体操等を行っている。	高齢者支援課
高齢者施設への訪問	保育園業務の中で高齢者施設の訪問などを行っている。	保育園
高齢者交流室運営事業	小平第二小学校内を利用し、囲碁・将棋・手芸等の趣味や創作活動、レクリエーション、季節の行事等を行い、小学生との世代間交流等を通して、高齢者の生きがいの充実と介護予防をはかる。	高齢者支援課
高齢クラブ連合会への助成・支援	高齢クラブ連合会が実施するスポーツ行事（ゲートボール・グランドゴルフ・運動会・輪投げ大会）及び芸能行事（芸能大会等）の助成および支援を行っている。	高齢者支援課
シニア講座（シルバー大学）	高齢者の生きがいのある社会作りを目指し、高齢者の自己啓発と社会活動への積極的な参加を促し、また、仲間作りや交流を図るため、教養、趣味・技術、レクリエーション等の総合的な学習の場を提供する。	公民館